

都市再生整備計画 フォローアップ報告書
新組・桂・富曾亀地区

平成24年2月

新潟県長岡市

1. 数値目標の達成状況の確認(確定値)

様式4-① 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の確定

指標	単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見
				評価値	見込み・確定の別	目標達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性	
指標1	主要幹線道路までの到達時間	%	100	80	80	確定 見込み ●	○	あり なし	78.8	H23年8月	○	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	道路整備により麻生田町から国道17号までの到達時間が短縮した。また、道路整備により、危険個所の解消や走行空間の快適性向上につながり、地区の利便性が向上した。さらに、道路ネットワークが形成されたことにより、災害時の避難や救助の際に、複数の経路が選択できるようになった。
指標2	自主防災組織の会議	回/年	1	3	3	確定 見込み ●	○	あり なし	3	H23年4月	○	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	地域防災マップ作成事業等により自主防災組織の会議等が活発に行われ、地区住民の防災意識の向上が促進した。
指標3	-	-	-	-	-	確定 見込み	-	あり なし	-	-	-	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	-

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2-①から転記 ※全ての指標について記入

※フォローアップの必要のある指標について記入

※全ての指標について記入

様式4-② その他の数値指標の確定

指標	単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見
				評価値	見込み・確定の別	達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性	
その他の数値指標1	住環境の向上に関する住民満足度	%	-	/	66	確定 見込み ●	/	/	/	H 年 月	/	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	道路整備や防災施設の設置による利便性・安全性の向上や、地区住民の防災意識の向上により、総合的に住環境がよくなったと感じる結果につながった。
その他の数値指標2	-	-	/	/	/	確定 見込み	/	/	/	H 年 月	/	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	-
その他の数値指標3	-	-	/	/	/	確定 見込み	/	/	/	H 年 月	/	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	-

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2-②から転記 ※全ての指標について記入

※フォローアップの必要のある指標について記入

※全ての指標について記入

2. 今後のまちづくり方策の検証

様式4-③ 「今後のまちづくり方策」の進捗状況

事後評価シート 添付様式5-③に記載した今後のまちづくり方策(事項)		実施した具体的な内容	実施した結果	今後の課題 その他特記事項
<ul style="list-style-type: none"> ・成果を持続させるために 行う方策 	・うるおいある空間形成	・河川管理用道路の補修、維持管理	・河川管理用道路は、日常生活で利用する散策ルートとして、地区住民に活用されている。	・うるおいのある空間として、地区住民との協働による、継続的な維持管理が必要である。
	・防災性・安全性の高い地域づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・生活道路・河川、避難施設の維持管理 ・情報伝達訓練 ・すまいの耐震改修促進事業 	<ul style="list-style-type: none"> ・生活道路・河川、避難施設の地域住民による維持管理により、危険な箇所や不足施設の早期発見につながった。 ・情報伝達装置の設置により、地区住民の防災意識の向上や災害発生時の情報伝達体制の基礎が構築できた。 ・個人住宅の耐震化が促進され、防災性・安全性が高い地域づくりが推進した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地区住民と協働による、生活道路・河川、避難施設の維持管理や情報伝達訓練等により、継続的に防災性・安全性の高い地域づくりに努める。 ・設置した情報伝達装置を災害時に活用できるよう、住民の連絡体制強化及びソフト施策の拡充が必要である。 ・今後も個人住宅の耐震化が促進されるよう、各種の情報提供や支援策、助成制度のPRに努める。
	・道路網の強化	・道路拡幅改良事業	・都市再生整備計画以外の危険箇所の整備により、道路ネットワークの形成が充実した。	・地区住民と協働による、継続した道路の維持管理が必要である。
	・農村集落の活性化	<ul style="list-style-type: none"> ・市民相互支援の仕組みづくりの推進 ・コミュニティセンターを活用した住民のコミュニティ活動の促進等 	<ul style="list-style-type: none"> ・自主防災会の情報伝達訓練や防災訓練により、災害時の情報伝達体制の構築が図られ、農村集落の防災性が向上した。 	・自主防災会等を活用し、市民相互支援の仕組みづくりや農村集落のコミュニティを活用する取り組みが必要である。
改善策	-			
・まちづくりの目標を達成するための改善策	-			
・残された課題・新たな課題への対応策	-			
・その他 必要な改善策	-			

事後評価シート 添付様式5-③から転記

様式4-④ フォローアップにより新たに追加が考えられる今後のまちづくり方策

追加が考えられる今後のまちづくり方策	具体的内容	実施時期	実施にあたっての課題 その他特記事項
-			

都市再生整備計画(清算報告)

新組・桂・富曾亀地区

新潟県 長岡市

・様式は、A4長辺側を、2箇所ホチキス留めすること。

都市再生整備計画の整備方針等

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
<ul style="list-style-type: none"> ・避難路の整備 <ul style="list-style-type: none"> ア. 中心部と直接連絡する道路の新設 <ul style="list-style-type: none"> ○小曽根町と麻生田町を結ぶ道路を整備する。 ○堀金3丁目と永田4丁目を結ぶ都市計画道路を整備する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○道路整備事業(中心部と直接連絡する道路の拡幅改良)(基幹事業) ○公共土木施設災害復旧事業(関連事業)
<ul style="list-style-type: none"> ・農村集落の防災性向上 <ul style="list-style-type: none"> 情報伝達機能の強化 	<ul style="list-style-type: none"> ○地域生活基盤施設(地域防災施設の整備)(基幹事業) ○公共土木施設災害復旧事業(関連事業)
<ul style="list-style-type: none"> ・ソフトな防災力の向上 <ul style="list-style-type: none"> ア. 災害情報内容の検証 <ul style="list-style-type: none"> ○緊急告知FMラジオの情報提供内容の有効性についての検証 イ. 地域住民の防災意識の高揚 <ul style="list-style-type: none"> ○自主防災組織により「地域防災マップ」を作成し、市民相互支援の仕組み(仮称市民助け合いシステム)構築 	<ul style="list-style-type: none"> ○地域防災マップ及び情報伝達コンテンツ提供マニュアル作成事業(提案事業) ○まちづくり交付金事業実施に関する成果検証及びまちづくり方策検討事業(提案事業)
<p>その他</p>	

